

平成27年 9月30日

厚生労働省 保険局 医療課
医療課長 宮寄 雅則様

リハビリテーション専門職団体協議会
公益社団法人日本理学療法士協会
会長 半田 一登
一般社団法人日本作業療法士協会
会長 中村 春基
一般社団法人日本言語聴覚士協会
会長 深浦 順

平成28年度診療報酬改定に関する要望

平素より我々の活動にご理解をいただき心より感謝しております。

今年度の介護報酬改定では、高齢者の生活を地域で支えていくために、介護保険下でのリハビリテーションの質を担保する方向に向けた改定が行われました。続く平成28年度診療報酬改定では、より早期かつ円滑に医療機関から地域での生活への移行および社会復帰を進めるとともに、医療保険下でのリハビリテーションの質の担保についても検討していく必要があります。我々リハビリテーション専門職団体協議会はこれらの方針に則り、高度急性期等の早期に患者の機能低下を防ぐ予防的な関わりや、退院後の活動・参加の促進につながるリハビリテーション専門職の関わりについて、そしてがん患者、精神科病棟入院患者等、重点的な対応が求められる分野におけるリハビリテーションの在り方を検討して参りました。

つきましては、別紙の通り診療報酬改定に関する要望を取りまとめましたので、ご尽力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

要望項目一覧

●リハビリテーション提供体制について（別紙2）

1. 急性期に関する提案
 - (1) ICU等の集中治療室における、リハビリテーション専門職の専従配置
 - (2) 急性期休日リハビリテーション提供体制加算の新設

2. 回復期に関する提案
 - (1) 職場・学校への訪問指導の評価
 - (2) 回復期における活動・参加を支援するカンファレンス等の推進

3. 精神科病棟に関する提案
 - (1) 精神科病棟入院患者の廃用症候群等の予防に向けたリハビリテーション専門職の配置
 - (2) 精神科リハビリテーション総合計画評価料の新設
 - (3) 精神科作業療法の時間要件の緩和

4. リハビリテーション医療の充実に関する提案
 - (1) リンパ浮腫に対するリハビリテーション専門職の関与の評価
 - (2) 緩和ケア病棟におけるリハビリテーション専門職の配置等の評価
 - (3) 人工透析施設への理学療法士・作業療法士の配置に対する加算の新設
 - (4) 病床数に応じたリハビリテーション専門職の配置および地域移行を推進する専従者の活動範囲の提案

5. 医療-介護間での「活動と参加」に向けた連携の充実
 - (1) 医療-介護連携におけるICFに基づいた生活行為申し送り表の活用

●リハビリテーション専門職団体協議会での要望 職名追記に関して（別紙3）

- (1) 呼吸器・運動器リハビリテーション料における言語聴覚士の介入
- (2) 言語聴覚士、作業療法士の呼吸ケアチームへの参加
- (3) 難病患者リハビリテーション料の施設基準に言語聴覚士を職名追記
- (4) 脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）（Ⅱ）における言語聴覚士の専従要件の見直し
- (5) 摂食機能療法における摂食嚥下障害者の主疾患の拡大
- (6) 臨床心理・神経検査の追加